



年頭の御挨拶

理事長 飯田和男



新年おめでとうございます。

あわただしく年の瀬が過ぎて、全国各地で除夜の鐘が打たれるのをみながら新年を迎えるのが慣例となってしまいました。

おめでとうということですが、一体なにがめでたいのかというと、いわゆる年神様(歳神様)が大晦日にやってくるのがめでたいといわれています。またこの年神様は、初詣の時に手をあわせる、地域を守ってくれる氏神様とは異なって、それぞれの家を一年間守ってくれる先祖の霊、耕作の神様といわれていて、山の上からやってくるそうです。そしてこの神様をおもてなしする行事が正月といわれています。

昨年は初詣にはなんとか行けましたが、すでに幾度となく、数十回以上も正月を迎えています。改めて正月をこんな風におもいますと、果たして丁重なおもてなしができていたのかどうか、だいぶ不安になってしまいます。

今年、平成から新しい年号にかわりますし、来年は東京でのオリンピックの開催が予定されていて、国民的行事が続きます。

是非良い年となってほしいものです。

皆様にとっても良い年となりますように。



迎春

新年明けましておめでとうございます。

入所者様の入所生活をより充実させ、また在宅復帰に向けたサービスの提供に職員一同努力して参ります。御指導・御協力戴けますようお願い申し上げます。

平成三十一年元旦

職員一同

